

# 中川・綾瀬川流域治水プロジェクト【中間とりまとめ案】

～都市化の進む流域において総合的な治水対策を一層推進し、浸水被害を軽減～

○ 令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、利根川水系中川・綾瀬川流域においても、事前防災対策を進める必要があり、以下の取り組みを一層推進していくことで、当流域で甚大な浸水被害が発生した戦後最大の昭和33年洪水と同規模の洪水に対して、資産の集中する大臣管理区間の堤防からの越水を防止し、流域における浸水被害の軽減を図る。

## ■河川における対策

### □ 対策内容

国：堤防整備、排水機場増強、支川合流点処理 等  
都県：堤防整備、高潮対策、河道掘削、調節池整備、放水路整備 等

## ■流域における対策

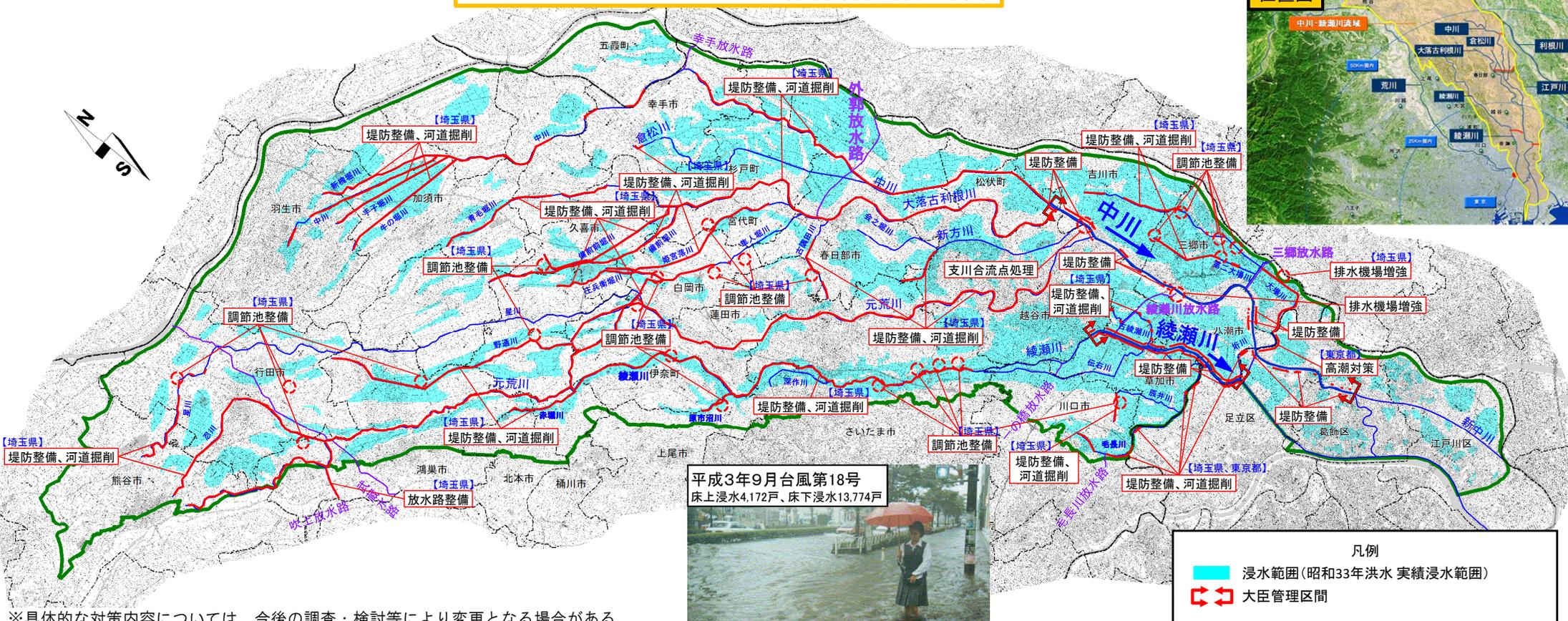
- ・雨水流出抑制施設の整備（校庭貯留、透水性舗装 等）
- ・条例等に基づく開発行為に対する流出抑制の指導、促進
- ・保水・遊水地域の保全、活用（自然地の保全、水田貯留 等）
- ・下水道における雨水貯留、排水施設の整備、耐水化
- ・土地利用に関する計画の見直し（立地適正化計画の策定 等）
- ・高台、避難場所整備
- ・住宅移転、宅地嵩上げ
- ・公共施設の耐水化（電気設備の嵩上げ、止水板設置 等） 等

※今後、関係機関と連携し対策検討

## ■ソフト対策

- ・危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの設置・更新
- ・まるごとまちごとハザードマップの整備促進
- ・講習会等によるマイ・タイムライン普及促進
- ・プッシュ型情報配信、防災無線等を活用した情報発信の強化
- ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進、避難訓練の実施
- ・自治体職員対象の排水ポンプ車運転講習会の実施 等

※今後、関係機関と連携し対策検討



平成3年9月台風第18号  
床上浸水4,172戸、床下浸水13,774戸



春日部市中央1丁目

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

※上図には危機管理対策等は含まれていない。

凡例

- 浸水範囲(昭和33年洪水 実績浸水範囲)
- 大臣管理区間